


A U C H W E R E H A B E N F L E I N A N G E F A N G E N

小人の饗宴

ヴェルナー・ヘルツォーク監督作品

パンドラ配給 



傀儡師・ヘルツォーク 唐十郎

冷えきった溶岩に囲まれた収容所施設で、とある日開放された人々の宴が、白昼96分とつづく。

母豚の乳に喰らいつく子豚を、棒で突っつき、納屋に収まるワゴン車を引っ張り出すと、逆時計回りに果てしなく周回させる。双生児にみえる盲目の男たちの聴覚を、回る車のエンジン音で混乱させると、共に振り回す棒で相打ちさせて、饗宴の肴は、尽きることない。

砂埃りが舞って、その中を駆け抜ける男女が、今、なんの喜びに憑かれてはしゃぐのかは、判然とししないのだが、手当りしだい、やりほうだいに、タブーを壊す。所長が留守した束の間のことらしく、監理室には、所長の代理が、外の騒ぎに怯えてたはずむ。その前には、縄をかけられた一人の収容者が、物言わずほくそ笑む。

どうやら騒ぎは、隔離されたその男の取り扱いをめぐる起きたかのようなのだが、饗宴の加速度は、もはや、そのきっかけさえ振り返る間もなく、暴走していく。

登場する人々は、皆、並の人よりも背が低く、タイトルも『小人の饗宴』^{かいらいし}ということになっているが、生理的に寸足らずの彼らが、この幽閉状況で、特殊な暴発をしでかしたとみるのは誤っている。ここに、ヴェルナー・ヘルツォークの傀儡師たる手品がある。ここに現われる小人は、等身大の人々を、あえて屈折してみせたばかりのことであり、この映画を小人ゆえに起こす珍騒動と観る客を、ヘルツォークは嘲笑い見守っている。そして、映画の終章に近づきながら、ヘルツォークとともに我々が首を傾げる問題は、〈饗宴のその場所がどこか?〉という一点であろう。

そこが、我らの身边周囲ということに気づいた時、この映画は、恐ろしい〈癒し〉の一本ということになる。(から じゅうろう 劇作家 小説家 劇団唐組主宰)



ヴェルナー・ヘルツォーク Werner Herzog 監督

1942年、ミュンヘンに生まれ、少年時代をバイエルンの農園で過ごす。大学で歴史、文学、演劇学を専攻。留学したピッツバーグでは追放処分を受けたり、メキシコで密輸をしたりと若い頃から、彼にはエピソードが多い。

64年、カール・マイヤー賞を受賞した自筆脚本「狼煙」をもとに、長編第一作として発表した「生の証明」(68年)で、ドイツ連邦映画賞を受賞し一躍注目を浴びる。世界的に知られる性格派俳優クラウス・キンスキーを起用した「アギーレ・神の怒り」(72年)で、興行的ヒットも成し遂げ、名実

ともにニュージャーマン・シネマを強力に牽引する監督として、内外に知られるようになった。「カスパー・ハウザーの謎」(74年)でカンヌ国際映画祭審査員特別賞、「フィツカラルド」(82年)で同映画祭監督賞など、爆然たる受賞を重ねた。以後、ジャンルや手法を越えて、意欲的に新作を発表。

90年代にはオベラの演出を手掛け、映画からは距離をおいていたが、クラウス・キンスキーとの長年に渡る交流をテーマにした「キンスキー、我が最愛の敵」を99年に発表し、世界中の観客を改めて魅了した。現在、30年代のベルリンを舞台にしてティム・ロスを起用した新作「Invincible」を、ミュンヘンで製作中である

完成後30年を経て、いま初めて劇場公開される〈挑発〉の問題作!!

監督・脚本●ヴェルナー・ヘルツォーク 撮影●トーマス・マオホ 編集●ベアータ・メインカ=イリングハウス 録音●ヘルベルト・ブラッシュ
音楽●フロリアン・フリッケ 出演●ヘルムート・デーリング パウル・クラウアー © Werner Herzog Filmproduktion 日本版字幕●若淵達治
1970年/ドイツ/96分/モノクロ/35mm/1:1.33/モノラル 配給●パンドラ ☎03-3555-3987 <http://www.pan-dora.co.jp/>

3/3(土)より連続ロードショー! 2/24(土)よりヘルツォーク特集先行上映!

各回入替制	3/3(土)→9(金)	3/10(土)→16(金)	3/17(土)→23(金)	3/24(土)→29(木)
小人の饗宴	3:00 6:50	1:05 4:55	(3/17(土)→19(月)のみ) PM8:45	PM8:45
キンスキー	1:05 4:55	3:00 6:50	(3/20(火)→23(金)のみ) PM8:45	アギーレのみ
フィツカラルド	AM10:20よりモーニングショー		11:25 4:05	PM8:45
アギーレ	PM8:45		2:10 6:50	レイト

ヘルツォーク特集上映	時間
生の証明	2/24(土) モーニング・3/5(月)レイト
嵐気楼	3/3(土)レイト
闇と沈黙の国	2/26(月) モーニング・3/4(日)レイト
カスパー・ハウザーの謎	2/27(火) モーニング・3/6(火)レイト
シュトヴェクの不思議な旅	3/1(木) モーニング・3/8(木)レイト
ガラスの心	2/28(水) モーニング・3/7(水)レイト
ヴォイツェック	3/2(金) モーニング・3/9(金)レイト
コブラ・ヴェルテ・緑の蛇	2/25(日) モーニング

地下鉄中央線 一本町

九条駅

6番出口

アルカ
ナルド
バチネコ
オメガ

大坂ドーム

シネ・ヌーヴォ

TEL.06-6582-1416

シネ・ヌーヴォのホームページアドレス
<http://terra.zone.ne.jp/cinenouveau/>

●4作品共通前売券1400円好評発売中!!
(当日/一般1700円、学生1400円、高・中・小・シニア1000円) ※上記4作品いずれか1本に使用可